

市議会意見交換会 概要報告

1 日 時 令和3年（2021年）3月23日（火）13時15分～14時20分

2 出席議員 全議員26名

3 議 題 第五次総合計画後期基本計画 施策の体系について

4 説 明 別添資料により井比企画政策課長が説明

5 質疑・意見交換

荒城議員： 後期基本計画のため大きく変更することは難しいということであるが、コロナで産業構造が大きく変化し、そのことに関してどこかで表現した方がよいのではないかと感じた。DXへの対応やSDGsの推進という記載があり、全く触れていないということではないと思うが、いかがか。

企画政策課長： おっしゃるとおり、産業分野においては、10年経ったらEVにシフトということが言われており、既に遅いくらいであるが、企業が進んでいく方向性に、行政がどのように支援していくか、後期基本計画にもしっかりと示していくことが必要であると考えている。

荒城議員： 教育現場のICT環境の充実について、これでよしとするか、もう一步踏み込んだ計画とするのか、議論が必要であると思う。

企画政策課長： 御意見を踏まえ、今後開催する分科会において問題提起をしていきたい。

三宮議員： コロナ禍で大きく行動変容が起こった。いずれコロナ禍が落ち着いても継続していく行動様式があると思うが、例えば、人が動くことが減ることで、公共交通の在り方が変わってくるなど、そういった点を想定し計画に盛り込んだ方がよいのではないか。

企画政策課長： コロナ関連について、現段階では計画全般に係る中で捉えていきたいと考えている。おっしゃるとおり、行動変容が全て元に戻ることはあり得ないと考えることから、そういった点も踏まえた計画の内容にしていきたい。

重野議員： 前期計画の人口推計よりも人口減少が著しい。前期計画と同じ視点で取り組んでいては、今後の4年間でさらにひどくなっていくと思われる。その点に関しては、既に分析されていることと思うが、それがどう反映されているのか。改善ではなく、新たな視点が必要ではないか。また、計画期間が4年間となり、市長選と大きく関わっていると受け止めているが、この度の市長選における公約「約束イレブン」がどこに活かされているのか。そういった点について検討されたのか。

企画政策課長： 人口減少については、昨年度の第2期総合戦略策定において、前期計画の推計よりも厳しい状況となっていると総括をし、今年度スタートしている。施策の体系に直接的に表れてはいないが、それぞれの現状や課題、施策の方向性においてしっかりと捉えて計画を作り込んでくものと捉えている。また、計画期間に関しては、あくまでも目まぐるしい時代の変化に対応するための変更であり、結果として付随する市長任期と合致するものであることを御理解いただきたい。約束イレブンについては、DXの対応という点において、全体的な視点で捉えていくが、内容として方向性が大きく変わっているものではないと捉えており、手段として盛り込んでいくことを想定している。

重野議員： 人口減少への対応については、ちょっとした改善では解決は難しいことから、是非そこに重点を置き、市の最上位計画として市民に分かりやすく示してほしい。

持田議員： （3ページ）第2章産業・雇用の観光に関して、コロナの影響もあるかもしれないが、インバウンドという文字が消え、表現が大きく変わり、以前よりも積極的な姿勢である印象を受ける。どのような議論からこういった形にな

- ったのか。
- 企画政策課長： 最上位計画である総合計画の具体的なアクションプランとして、行政だけでなく関係する方々と一緒に策定した観光ビジョンに基づき、柏崎の観光をしっかりと前面に出して取り組んでいく姿勢を示したものである。また、御承知のとおりコロナの影響もあり、インバウンドに関しては控えるとともに、稼ぐ観光という視点で整理したものである。
- 持田議員： ベースになるのは地域のコミュニティであり、住民参加である。地域資源の活用という視点で、そういった議論があったのかお聞きしたい。
- 企画政策課長： 3ページは産業・雇用という枠組みでの取組であり、産業振興で稼いでいくという観点になる。一方で、地域の力の継続や魅力の維持・向上については、魅力・文化の章でしっかりと捉えていくことが重要であると考えている。いずれにしても、市民の皆様が主体となって、行政が一緒になって進めていくことは間違いなく、章立てに関わらず全章にわたってそういった視点で計画を作り込んでいきたい。
- 山本議員： 観光ビジョンに関連して整理したということであるが、3つの道の駅を今後どうしていくのか、なかなか思い描けない。非常に重要な問題であると思うが、4年間で観光ビジョンに入れてやっていくということであるのか、その点についてお聞かせいただきたい。
- 企画政策課長： 道の駅の方向性について、総合計画で言及するかという点については、現段階では明確になっていない。今後、審議会や分科会も含めて議論を深めていく中で、どこまで踏み込んだ表記にしていくかは検討したい。
- 山本議員： 稼ぐ観光ということであるが、現状として稼げる状況ではない。その点も考えて反映していただきたい。
- 星野議員： 産業・雇用の分野と健康・福祉の分野、両方において障害を持っている方の就労について記載があり、大分強調されているが、その背景をお聞きしたい。
- 企画政策課長： 健康・福祉の分野においては、障がい者の方に対する全般的な施策であり、産業・雇用の分野に関しては、雇用を切り口として誰もが社会参加により活躍できるという視点である。いずれにしても、障害がある方や高齢者、女性の社会進出がなければ持続可能な社会になり得ないというものが根底にあり、そういった点を強く表現をしている。
- 星野議員： 国の差別解消法が強調されて、努力義務から義務に変更された点が多くある。そういった背景からこの点の変更され、柏崎市として重点を置くために強調したのかと想定したが、いかがか。
- 企画政策課長： 説明で申し上げたとおり、4ページ健康・福祉分野の当該部分については、障がい者・福祉計画と整合を図っており、その計画の基となる法律の改正等については十分踏まえた上で、総合計画にも反映している点で、考え方はおっしゃるとおりである。
- 白川議員： (3ページ)産業・雇用の第1節「豊かなくらしを支える多様な働く場をつくる」について、フロンティアパークがほぼ内定をしてきていること及び市内企業がフロンティアパークへ進出して、企業拡大を図っているという現状を考えると、主要施策3の企業誘致は主要施策2に含めることも御検討いただきたい。また、事業承継にはM&A(事業譲渡)も含めた検討をしていただきたい。第6章のソーシャルビジネスの定義があいまいであるといった点について、今後創業・企業者がSDGsに目が向いてくると、事業そのもので課題解決や世の中のためといった動きがますます進むと思われることから、そういった点も上手に計画に盛り込んでいってほしい。
- 企画政策課長： 企業立地についてはおっしゃるとおり、フロンティアパークは完売に近く、市内の企業が進出し拡大を図っていく可能性がある。市が保有する土地を有効に使いながら、柏崎市内外からの企業立地に対する継続的な取組を進めていくという考えである。また、M&Aについては、考えていくべきものであり、施策の体系として表立った表記はないが、内容に含めて整理していくべきであると捉えている。SDGsに関しては、関連付けに止まらず、考え方の浸透も含めて様々な施策や事業展開を進めていきたい。

- 秋間議員：人口は減少しているが、若い世代の新築の家の数は増え、独居老人が増加し、空き家が増えていくと想定される。しかし、(1ページ)防災・生活・環境+第2節主要施策3「良好な生活を支える環境を守る」については体系に変更がないが、そういった危機感等については、この先の細かいところでうたっていくのか。
- 企画政策課長：現段階では施策の体系という点で、目指す方向性は前期計画と同じであるが、そこに至る手段や考え方等については、現状をしっかりと捉えているかという視点をベースに、今後審議会等で議論を行っていききたい。
- 樋口議員：審議会委員について、各分野からの参加が必要なのは言うまでもないが、選出の過程や基準についてお聞きしたい。
- 企画政策課長：選出に当たっては、分野別に各部署から推薦をいただいた上で絞込み、最終的なお願いをさせていただいた。多岐にわたる意見を集約できるように考えているが、どうしても隙間ができる点は否めない。そういったところは、各委員の方から知見をお話いただく中で、フォローをしていきたい。
- 春川議員：(2ページ)防災・生活・環境の主要施策3の基本方向(2)「環境美化の推進」について、不法投棄が縮小傾向ということであるが、まだまだたくさんある。計画の中にどう位置付けていくかは研究していただきたい。
- 企画政策課長：地域性ということもあると思うが、市全体として考えた中で体系を整理している。不法投棄対策に関しても、今後の方向性に含めて計画をまとめていきたい。
- 近藤議員：(3ページ)産業・雇用第1節主要施策1の基本方向(1)「若者・女性・障がい者の就労支援」について、あらゆる人材を確保していききたいということだと思うが、備考欄に記載のある以外にも、移住定住の方を始め、中途採用などの方もいる。例えば「多様な人材」というような表現をどこかに含めれば、ある程度包括した意味合いになると思う。
- 企画政策課長：御提案について、今後の議論の中で検討していききたい。
- 若井議員：(5ページ)教育・スポーツにおいて、教育大綱から市としての方向性を強調するとの記載があるが、第1節主要施策2「地域ぐるみで子どもや若者を育てる」については、改正される前の表現になっているようである。両方が同じ教育大綱のことを示しているのか。また、基本方向(1)の「発展させる教育」という表現について、分かりにくいので再考が必要ではないか。
- 企画政策課長：担当課からの聞き取りでは、同じ教育大綱に基づく変更であるとのことだが、再度確認させていただく。また、言葉の分かりにくさについても、検討させていただく。
- 三宮議員：(4ページ)健康・福祉の第1節主要施策1「心と体の健康づくりを進める」に関連する部分で、この度のコロナをいい学びとして、基本方向レベルで、今後も起こりうる新型コロナウイルスに対することをうたってもいいのではないかと感じるが、いかがか。
- 企画政策課長：御意見を踏まえて検討させていただきたい。
- 真貝議長：前期計画の時には示してもらえなかった中学校区別の人口推計について、どこかのタイミングで示してもらえるのか。また、実行性のある計画としていくために、PDCAを回すことや今後デジタル予算書との連動性をどのように考えているのか。
- 企画政策課長：以前から指摘をいただいている地区別の人口推計については、委託業者に算出を依頼している。冊子に掲載するかは今後検討していくが、資料としてお示しする予定である。進捗管理については、審議会において審議し、担当課にフィードバックをする形でPDCAを回していくとともに、今後はデジタル予算書に入力をして一元管理が可能となることから、各職員がデータを活用して政策立案をしていけるような意識付けを全庁的に展開していければと考えている。
- 持田議員：(2ページ)防災・生活・環境の第4節主要施策1に「地球温暖化対策を進める」とあるが、同じように省エネが重要であると思うが、全体を見渡してもその言葉が出てきていないが、いかがか。

- 企画政策課長： 各課からの聞き取りシートにおいて、(2ページ) 防災・生活・環境の第4節主要施策1の基本方向(1)「次世代エネルギー活用による温暖化対策の推進」において、現況の問題意識として省エネの研究を進めるとあり、その中でしっかりと取り組む方向性は出していきたいと考えている。
- 持田議員： 省エネは極めて大切であるので、体系に抜き出して掲げておいていただければと思う。
- 佐藤副議長： 市議会と並行して総合計画審議会でも審議して進めていくということで、先日の合同会議の開催についても、地元紙等で承知している。我々議員は、そういった様々な状況を踏まえて会議に臨まなければならないと思う。本来であれば、その審議会の内容を踏まえて今日の会議に出席すべきであるが、ホームページに情報が掲載されていない。それを基に効率的な議論を行って行ければと思うので、可能な限り速やかに対応をお願いしたい。
- 企画政策課長： 掲載が遅れており、申し訳ない。速やかな対応に努力していきたい。
- 村田議員： インバウンドについて、コロナの後にこそ力を発揮すると思うが、稼ぐ観光への変革に含まれるということだけでよいのか。
- 企画政策課長： 現段階では、一つの項目として掲げていくのは難しいと考えている。インバウンドのための準備という方向性も含めて検討していきたい。